



アストンマーティン Valkyrie、IMSA シーズンの次の舞台は 世に名高いインディアナポリス・モーター・スピードウェイ

- アストンマーティン Valkyrie が参戦する IMSA ウェザーテック・スポーツカー選手権、北米で最も有名なサーキットへと舞台を移す
- Valkyrie は 2025 年に IMSA と世界耐久選手権（WEC）という 2 つの世界最高峰スポーツカーシリーズの両方で戦う唯一のロードカーベースのハイパーカー
- これまでのトップ 10 フィニッシュ 6 連続達成を踏まえ、北米大陸の頂点を極める IMSA 最新ラウンドで、ロス・ガンとロマン・デ・アンジェリスがさらなる前進を狙う



2025年9月17日、インディアナポリス（米国）：

今週末、IMSAウェザーテック・スポーツカー選手権（IMSA）が世界に名だたるインディアナポリス・モーター・スピードウェイ（米国インディアナ州）で開催されるTirerack.comバトル・オン・ザ・ブリックスへと舞台を移す中、最高成績を挙げたばかりの驚異のアストンマーティンValkyrieが国際レース・デビューシーズンのクライマックスに向けて爆進します。

アストンマーティンのワークスチームTHORによるValkyrieの米国デビューシーズンは、前回のロード・アメリカでこれまでの最高成績を記録しました。英国のウルトラ・ラグジュアリー・ハイパフォーマンス・ブランドであるアストンマーティンの最新型ハイパーカーValkyrieは、好調な週末を経て初の6位フィニッシュを決めました。

北米最高峰スポーツカー選手権であるIMSAの2025年シーズンが残すところ2レースとなった現在、ますます高まりを見せる車両の競争力を引き続き伸ばし、その波に乗ったまま一年を終えることが目標となっています。

インディアナポリスは、レース時間が標準的な2時間40分より長い全5戦から成るIMSAミシユラン・エンデュランス・カップの第4戦です。Valkyrieは3月に開催された第2戦のモービル1セブリング12時間レースでIMSAデビューを果たし、7月にワトキンググレンで開催されたサーレンズ・グレン6時間レースでも快調なパフォーマンスを見せました。

ドライバーのロマン・デ・アンジェリス（カナダ）とロス・ガン（英国）は、「ブリックヤード」の愛称で知られるインディアナポリス・モーター・スピードウェイの2.4マイルのコースが2023年にIMSAに復活して以来、毎回出場を重ねています。両者とも、これまではThe Heart of Racing（THOR）チームのアストンマーティンVantage GT3で参戦してきました。ガンは2023年にIMSA GTD Proクラス2位、昨年は5位を獲得しており、一方のデ・アンジェリスは2023年にGTDクラス（GT3車両が対象）4位、続くシーズンではGTD Proに移って6位を獲得しています。

IMSAと世界耐久選手権（WEC）の両方で唯一のロードカー由来のハイパーカーであるValkyrieは、アストンマーティンとTHORによって量産バージョンをベースに開発されました。競技バージョンは、レース用に最適化したカーボンファイバー製のシャシーに6.5リッターV12エンジンの改良版を搭載しています。エンジンは標準仕様では最高回転数11,000rpm、最大出力は1,000bhpを超えますが、ハイパーカーのレギュレーションに従い、出力は500kW（680bhp）に厳密に制限されます。

アストンマーティンにとって、Valkyrieの出場は5つの総合優勝と7つの表彰台獲得を決めたアメリカン・ル・マン・シリーズが開催された2011年シーズン以来、初めての米国スポーツカーレース最上位部門への挑戦になります。

ロス・ガン、アストンマーティンValkyrie 23号車ドライバー：「インディアナポリスで再びValkyrieに乗ることをとても楽しみにしています。IMSAの日程が大きく空いた間、The Heart of RacingチームとアストンマーティンはValkyrieのパッケージ改良実現のため、本当に懸命に努力しました。Valkyrieはレース出場のたびに能力を開花させている印象があります。かの有

名なインディアナポリス・モーター・スピードウェイのゲートに登場するときは、夢ではないのかと思わず自分をつねってしまうような瞬間になると思います。シーズン終盤に入り、私たちは前回のロード・アメリカの最高成績をさらに伸ばすことに焦点を絞っています。目標は前回より一つ上を狙い、引き続き学びを得ること。そして最も重要なのは、楽しむことです」

ロマン・デ・アンジェリス、アストンマーティンValkyrie 23号車ドライバー：「ロード・アメリカから、日程にかなり長く感じる休みがあった後にレースに戻れることを楽しみにしています。前回Valkyrieでの初の6位フィニッシュに続いてインディに向かうのは良い気分です。前回の成果でチームの士気と自信がかなり高まり、今週末さらに良い結果を目指してがんばろうという雰囲気になっています。次の6時間レースに向けて可能な限りの準備ができるオフの時間があったのはよかったですし、アストンマーティンTHORチームとまた一緒にやれることを楽しみにしています」

イアン・ジェームズ、アストンマーティンTHORチーム代表：「IMSAとFIA世界耐久選手権の両方で、Valkyrieは目に見える進歩を遂げています。ロード・アメリカでは過去最高の競争力を発揮し、初の6位を獲得しました。とても良い戦略的な選択がいくつかあったのと、パフォーマンスの安定を達成できたおかげです。今週末、Valkyrieを世界でも最も有名なサーキットであるインディアナポリス・モーター・スピードウェイに登場させるという荣誉にあずかります。IMSAデビューシーズン終盤に控える、大きな挑戦となることが確実な2つのレースの1つ目で、これまでの上り調子を続けていくことを狙っていきます」

アダム・カーター、アストンマーティン耐久モータースポーツ責任者：「ValkyrieのデビューシーズンもIMSAのレースが残り2つとなりましたが、2025年はValkyrieとアストンマーティンTHORチームの両方とも着実な進歩を遂げ、心強いものがありました。前回のロード・アメリカにおいて、Valkyrieの連続6回目のトップ10フィニッシュとなった本プログラム初の6位を獲得できたことが、それをよく示しています。ValkyrieはGTPカーの新参者であるにも関わらず、非常に高い信頼性を示し、セブリングやワトキンスグレンなどの困難なサーキットでも長時間の耐久レースで好調なパフォーマンスを見せてくれました。終盤のレースでも絶えず改良に向けて力を尽くし、このような進歩を続けていくことを目指しています」

こちらのプレスリリースに関する素材は、下記よりダウンロード可能です。

<https://we.tl/t-Ra5I2hstCy>



Vantage、伝説のインディアナポリス・

モーター・スピードウェイで栄光を目指す

- The Heart of Racing チーム、インディアナポリス・モーター・スピードウェイの Tিরerack.com バトル・オン・ザ・ブリックスで IMSA ウェザーテック・スポーツカー選手権の GTD タイトル争いに復帰
- THOR チームのレギュラーメンバーであるトム・ギャンプルとキャスパー・スティープンソンにザカリー・ロビションが加わった 3 人組が、ミシュラン・エンデュランス・カップにおけるリードのポイント差拡大を目指す
- Van der Steur Racing の Vantage では、ヴァランタン・アス・クローとアントニー・マッキントッシュに加え、ブラジルのエドゥアルド・バリチェロが IMSA デビュー
- バリチェロ加入で、2025 年に FIA 世界耐久選手権 (WEC) の表彰台を獲得したメンバーの顔ぶれがそろそろ

ValkyrieがTিরerack.comバトル・オン・ザ・ブリックスでIMSAウェザーテック・スポーツカー選手権GTP部門に出場する一方で、これまで最も多く成功を収めているアストンマーティンのレーシングカーの最新モデル、Vantage GT3もThe Heart of Racing (THOR) から出場し、アストンマーティンはGTDクラスでも栄光を目指して戦うことになります。

昨年、世界最高峰のGT3レースであるスパ・フランコルシャン24時間レースを制したVantage GT3は、ウルトラ・ラグジュアリーなロードカーVantageと同じ機械的アーキテクチャを採用し、アストンマーティンの実績ある接着アルミシャシーを中心に組み立てられ、恐るべき4.0リッターV8ツインターボエンジンを搭載しています。

日曜日に開催される6時間レースの舞台となるインディアナポリス・モーター・スピードウェイの2.4マイルのロードコースと、シーズン最終戦のミシュラン・プチ・ル・マンのロード・アトランタは、2025年のIMSA GTDチャンピオンのみならず、IMSAミシュラン・エンデュランス・カップ (IMEC) の勝者を決める上でも極めて重要なレースになります。

現在、IMECにおいてチーム部門においてはTHORがタイトル争いの先頭を走っています。ドライバー部門では、7月にワトキンググレン (米国ニューヨーク州) で開催されたサーレンズ・グレン6時間レースでの見事な勝利を受け、キャスパー・スティープンソン (英国)、アスト

ンマーティンのワークスレーサーであるトム・ギャンブル（英国）、ザカリー・ロビション（カナダ）がトップに立っています。

インディアナポリスでは、今年はIMECのレースのみに出場するIMSA GTDチャンピオン経験者のロビションが、フルシーズン出場するレギュラーメンバーのステーブンソンとギャンブルに加わります。ステーブンソンは、前回バージニア・インターナショナル・レースウェイでギャンブルと共に3位フィニッシュを獲得し、IMSA GTDのドライバーズ・ランキングで総合2位に入っています。

2025年はIMECの5戦のみに参戦するVan der Steur Racingは、Vantage GT3でワトキンズグレン以来の出場となります。インディアナポリスでは、先週マウンテンバイク事故に遭い現在は負傷から回復中のローリー・ヴァン・ダー・スチュア（米国）に代わり、エドゥアルド・バリチェロ（ブラジル）が参加し、ドライバーのラインアップに華を添えます。19歳のバリチェロは、先月インテルラゴスで開催されたFIA世界耐久選手権（WEC）サンパウロ6時間レースでLMGT3において初のポールポジションを獲得した後、チームメイトのアントニー・マッキントッシュ（米国）とアストンマーティンのワークスドライバー、ヴァランタン・アス・クロー（フランス）と共に初の表彰台に上り、母国の観衆を沸かせました。バリチェロの参加で、マッキントッシュとアス・クロー、バリチェロという実績ある3人組が、今年のVan der SteurのIMECプログラムにも登場することになります。

視聴方法

Tirerack.comバトル・オン・ザ・ブリックスは2025年9月21日（日）の現地時間11:40（BST+5時間）に開始されます。IMSA TVとIMSA YouTubeチャンネルで生中継されるほか、各国の放送局による生中継も放送されます。

アストンマーティン・ラグondaについて

アストンマーティンは、世界でもっとも熱望されるウルトラ・ラグジュアリー・ブリティッシュ・ブランドとなることを目指し、人々を魅了してやまないハイパフォーマンス・カーを作っています。

ライオネル・マーティンとロバート・バンフォードによって1913年に設立されたアストンマーティンは、スタイル、ラグジュアリー、パフォーマンス、エクスクルーシブネスを象徴するグローバル・ブランドとして知られています。アストンマーティンは、最先端のテクノロジー、卓越したクラフトマンシップ、美しいスタイルを融合させ、Vantage、DB12、Vanquish、DBX707に加え、同社初のハイパーカーであるValkyrieなど、高い評価を得ている一連のラグジュアリー・モデルを生み出しています。また、Racing. Green.サステナビリティ戦略に沿って、アストンマーティンは2025年から2030年にかけて、PHEVとBEVを含むブレンドドライブトレ

インアプローチによる内燃エンジンの代替システムの開発にも取り組んでおり、電気自動車のスポーツカーとSUVのラインナップを持つという明確なプランを描いています。

英国のゲイドンを拠点とするアストンマーティン・ラゴндаは、ラグジュアリー・カーを設計、製造、輸出し、世界で50以上もの国で販売しています。スポーツカー・ラインナップはゲイドンで製造されており、ラグジュアリーSUVのDBXは、ウェールズのセント・アサンで製造されています。同社は、2030年までに製造施設をネットゼロにする目標を掲げています。

ラゴндаは1899年に設立され、1947年にアストンマーティンとともに故デビッド・ブラウン卿に買収され、現在は「Aston Martin Lagonda Global Holdings plc」としてロンドン証券取引所に上場しています。

2020年には、ローレンス・ストロールが同社のエグゼクティブ・チェアマンに就任し、未来の重要な分野に対して新たな投資を行うと同時に、アストンマーティン・アラムコ・フォーミュラ1®チームとともにモータースポーツの頂点へと復帰し、英国を象徴するブランドとして新たな時代へと乗り出しています。



<https://media.astonmartin.com/>

メディア問い合わせ先：

株式会社ブレインズ・カンパニー

加藤 七瀬：070-7611-6970 中井 美里：070-2238-5865

astonmartin-pr@pjbc.co.jp